

人材育成 講演・セミナーのプログラム例

区分	テーマ	内容	対象者
講演	生きる幸せ、働く喜び (60～120分)	・講師の実体験（長女の小児がん発病、闘病、死別、早期退職、起業）をもとに、①いのちをみつめる意味、②私の体験、③自分を変える、働く、人間関係、気の持ち方、家族、しあわせについて講演。会社や労働組合主催の講演会テーマとしてご要望が多い。 *例＝モチベーション、コミュニケーション、意識改革研修、労働安全大会、メンタルケアセミナー、取引先など社外企業との交流会、労働組合の定期大会、各種記念大会 等	社員、役員、労働組合員、取引先
	いのちの授業 ～いのちのバトンタッチ (60～90分)	・小児がんの少女と家族の姿を通じて、いのちの大切さや家族の絆を語る。園児・小学生・一般向けにプログラム。学校・PTA・青少年育成向けにご要望が多い。 *例＝学校やPTA 記念行事、青少年、人権大会等	生徒、学生、保護者、一般
	いのちの授業 ～いのちを大切にすることを育む (60～90分)	・いのちの授業などでの実体験やメッセージをもとに、いのちを大切にすることを育むために何を心に刻んだら良いか、子どもに何を示せばよいかを語る。PTA・教職員研修・自殺予防事業などご要望が多い *例＝PTA、教職員セミナー、自殺予防事業、人権大会等	保護者、教師、一般
	「いのちと医療」「いのちと教育」 「いのちと福祉」「いのちと介護 (60～120分)	・闘病、グリーフケア、いのちの教育、介護体験をもとに、患者家族や教育実践者の目線から、いのちの大切さ、家族の絆、専門職として使命などを語る。専門学校・大学、製薬企業、医療・福祉・介護関係者向 *例＝看護、介護、社会福祉、医療、教育関係の記念講演	学生、専門職、
	社会人となる君へのメッセージ (60～90分)	・生きること、働くこと、家族のことなど、社会人となるに当たり心してほしいことを語る。成人式、新入社員研修として要望が多い *成人式、新入社員研修の最後の仕上げ講話等	新入社員、新成人
	半日	生きる幸せ、働く喜び (180分)	・講師の実体験（長女の小児がん発病、闘病、死別、早期退職、起業）をもとに、①いのちをみつめる意味、②私の体験、③自分を変える、働く、人間関係、気の持ち方、家族、しあわせ、④自己改革宣言を、ワークショップを取り入れて展開。新人研修、階層別教育、幹部社員研修、有志勉強会としてのニーズが高い。 *例＝新入社員研修、新任マネジャー研修、基幹社員研修（次課長、所長）、役員候補者研修 等
〇〇専門職として働く使命		・上記内容を、製薬企業のMR 向、看護師向、介護職員など専門職向けにアレンジ。専門職教育として要望が多い。	専門職
一日	生きる喜び、働く喜び (400～480分)	・上記を1日セミナーで展開	社員
	〇〇専門職として働く使命	・ "	専門職